

# キャスビー CASBEE北九州（北九州市建築物総合環境性能評価制度）

## CASBEE（建築環境総合性能評価システム）

Comprehensive《総合》Assessment《評価》System《システム》  
for Built《建築》Environment《環境》Efficiency《効率》の略

### 1. 制度の概要

建築物は、そのライフサイクルを通じ、エネルギーの消費や廃棄物の発生など、環境に対し様々な影響を与えています。

北九州市は、平成19年11月に「建築物総合環境性能評価制度」を創設しました。

当制度は、2,000㎡以上の建築物を新築、増築又は改築する際に、建築主が建築物の環境性能を自己評価し、その結果を市に届け出る制度です。評価結果は市のホームページで公表しています。

評価にあたり、平成20年10月から、本市の地域性を盛り込んだ独自の評価システム「CASBEE北九州」による届出制度を本格実施しています。

「CASBEE北九州」の普及により、建築主の環境に対する自主的な取組みを促し、環境に配慮した建築物の整備が促進され、環境保全や持続可能な都市の実現に向けた取組みを目指します。

評価に使用するシステム「CASBEE（キャスビー）」は、国の支援のもと産官学の連携により、建築物の環境性能を総合的に評価するシステムとして開発され、「建築物の環境品質」や「建築物が周辺環境へあたえる影響」等約90項目を評価し、その結果はSランク（素晴らしい）からCランク（劣る）までの5段階の格付けと、★印の数で表示されます。

「CASBEE北九州」は、「CASBEE建築（新築）」での評価結果に加えて、北九州市の地域性を考慮した「重点項目」への取組み度合いを評価するシステムです。

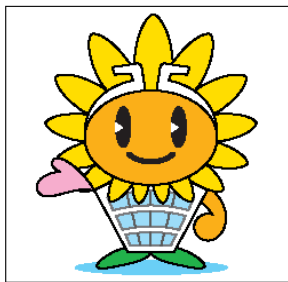
評価結果は「よい、ふつう、がんばろう」の3段階をマスコットキャラクターの表情で表示します。

#### CASBEE北九州マスコットキャラクター

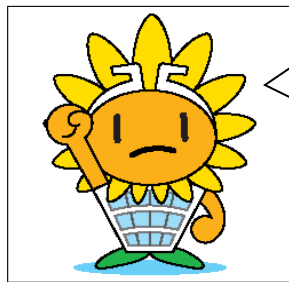
よい



ふつう



がんばろう



- ・「建築物総合環境性能評価制度」をビルの体で表現
- ・環境に配慮した北九州市代表の建物を北の文字の冠と市の花ひまわりの大きな勲章で表現

### 2. 届出対象建築物、届出時期、届出書類

届出対象建築物：市内で床面積2,000㎡以上の建築物の新築、増築又は改築

届出時期：工事着手の21日前まで

届出書類：「CASBEE北九州」で自己評価した結果（特定建築物環境配慮計画書）とその根拠資料  
※CASBEE北九州評価ソフトは建築指導課ホームページからダウンロード出来ます。（詳細は裏面）

### 3. 評価結果の公表

自己評価結果の概要を市のホームページで公表します。

建築主のメリット：評価を実施することで、建築物の環境性能を消費者にアピールできます

問い合わせ先：北九州市都市戦略局指導部建築指導課

〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1

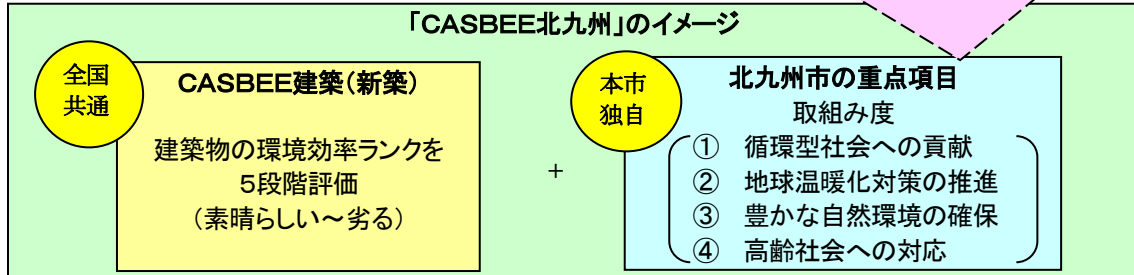
TEL (093) 582-2531 FAX (093) 561-7525

## 「CASBEE北九州」の概要

### CASBEE北九州とは

「CASBEE北九州」は、「CASBEE 建築（新築）」での評価結果に加えて、北九州市の地域性を考慮した「4つの重点項目」への取組みを評価するシステムです。「CASBEE北九州」は、「CASBEE 建築（新築）」を活用して、建築物の総合環境性能評価を行います。

重点項目は、学識経験者や関係部局等が参加した委員会で検討を行い、該当する内容を「CASBEE 建築（新築）」の評価項目から抽出。



### 「CASBEE 北九州」の評価ソフトの入手方法（無料）

評価には「CASBEE 建築（新築）」及び「CASBEE 北九州」の評価ソフトが必要です。  
※評価に使用するCASBEE 建築（新築）のバージョンは適宜更新されます。市HPでご確認ください。  
「CASBEE 建築（新築）」の評価ソフトは（財）建築環境・省エネルギー機構のホームページからダウンロードできます。評価には「CASBEE 建築（新築） 評価マニュアル」をご参照下さい。（財）建築環境・省エネルギー機構（<http://www.ibec.or.jp/CASBEE/>）

「CASBEE 北九州」の評価ソフトは建築指導課のホームページからダウンロードできます。評価には「CASBEE 北九州 評価マニュアル」をご参照下さい。  
※北九州市のホームページのトップページ画面で「CASBEE」で検索出来ます。

### 評価にあたって留意が必要な評価項目

次の3項目については、関連する北九州市の条例や基準等も参照のうえ、評価を行ってください。

- ① Q2/1.1.3 バリアフリー計画…福岡県福祉のまちづくり条例
- ② LR2/2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用…北九州市認定建設リサイクル資材使用指針等
- ③ LR2/2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用…北九州市認定建設リサイクル資材使用指針等

### 「CASBEE 北九州」における重点項目

「CASBEE 北九州」では本市の環境施策などを参考に、4つの重点項目を設け、建築物の新築や増改築にあたっては、特段の配慮に努めていただくことを期待しています。

**〔重点項目①〕循環型社会への貢献** 本市では「北九州エコタウン事業」など、循環型社会の構築に向けた取組みを全国に先駆け積極的に推進しています。建築物もこれに準じた取組みが求められます。

- 1) リサイクルに関する配慮 (LR2/2 非再生性資源の使用量削減)
- 2) 長寿命化に関する配慮 (Q2/2.2 部品・部材の耐用年数) (Q2/3 対応性・更新性)

**〔重点項目②〕地球温暖化対策の推進** 地球温暖化は、世界的にも最優先に取り組むべく環境問題です。本市では「地球温暖化対策推進計画」の目標達成に向けた取組みを早急に進める必要があります。

- 1) 省エネ・省資源に関する配慮 (LR3/1 地球温暖化への配慮)
- 2) 節水に関する配慮 (LR2/2.1.1 節水)

**〔重点項目③〕豊かな自然環境の確保** 本市には、豊かな自然環境が多く残されており、これを継承しながら環境首都としてふさわしい緑豊かなまちづくりが求められます。

- 1) 生態系保全に関する配慮 (Q3/1 生物環境の保全と創出)
- 2) 緑化に関する配慮 (Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上) (LR3/2.2 温熱環境悪化の改善)

**〔重点項目④〕高齢社会への対応** 本市は政令指定都市の中で最も高齢化が進んでいます。建物において高齢者や障害者等に配慮したバリアフリー対策を進めることは、将来の高齢社会に備えるために重要です。

- 1) バリアフリーに関する配慮 (Q2/1.1.3 バリアフリー計画)

「CASBEE 北九州評価結果」公表用シート（例）



評価結果

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州\_2014(v2.0)

<b>1 建物概要</b>						
建物名称	〇〇ビル	BEE	1.7	BEEランク	A	★★★★

<b>2 重点項目への取組み度</b>						
重点項目	得点※/満点	取組み度	評価			
1 循環型社会への貢献	3.0 /5		ふつう			
2 地球温暖化対策の推進	3.0 /5		ふつう			
3 豊かな自然環境の確保	4.0 /5		よい			
4 高齢社会への対応	4.0 /5		よい			
※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

<b>3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア</b>						
使用CASBEE評価マニュアル：CASBEE-建築(新築) 2014年版			使用CASBEE評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v2.0)			
<b>1 循環型社会への貢献</b>					スコア平均 3.0	
リサイクルに関する配慮 LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減		スコア 3.4	長寿命化に関する配慮 Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数		スコア 3	
			Q2/ 3 対応性・更新性		スコア 2.6	
<自由記述>			<自由記述>			
<b>2 地球温暖化対策の推進</b>					スコア平均 3.1	
省エネ・省資源に関する配慮 LR3/ 1 地球温暖化への配慮		スコア 3.1	節水に関する配慮 LR2/ 1.1 節水			スコア 3
<自由記述>			<自由記述>			
<b>3 豊かな自然環境の確保</b>					スコア平均 4.0	
生態系保全に関する配慮 Q3/ 1 生物環境の保全と創出		スコア 4	緑化に関する配慮 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上		スコア 4	
			LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善		スコア 4	
<自由記述>			<自由記述>			
<b>4 高齢社会への対応</b>					スコア平均 4.0	
バリアフリーに関する配慮 Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画		スコア 4	主な指標			
<自由記述>			建物の外皮性能 (BPI評価)			
			非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級			0.88
			建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価)			
			非住宅:BEI値、住宅: -			0.72
			外構緑化指数			5%
			建物緑化指数			20%

: 入力欄

: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

「CASBEE 建築（新築）評価結果」公表用シート（例）

# CASBEE® - 建築（新築） | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〇〇ビル	階数	地上〇〇F
建設地	〇〇県〇〇市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 0.0	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	XXX m <sup>2</sup>	作成者	〇〇〇
建築面積	XXX m <sup>2</sup>	確認日	2014年7月10日
延床面積	3,000 m <sup>2</sup>	確認者	〇〇〇

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>BEE#VALUE!</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法</p> <p>46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安を示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア= 3.0</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア= 3.0</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア= 3.0</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> Q3のスコア= 3.0</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア= #####</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア= 2.8</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア= 3.0</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア#VALUE!</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい